

PM学会四国支部 7 月度研究会記録

日 時： 2012 年 7 月 26 日 (木) 14 : 00～16 : 00
場 所： 香川大学幸町南 (経済学部) キャンパス 又信記念館 1 階 特別講義室
主 催： プロジェクトマネジメント学会四国支部
香川大学技術交流協力会
講 演： 「政府のすすめる地域活性化総合特区
『かがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) を生かした安心の街づくり計画』」
講 師： 香川大学瀬戸内圏研究センター特任教授
徳島文理大学理工学部臨床工学科 教授
原 量宏氏
出席者： 19 名
司会進行：板倉 宏昭 (四国支部副支部長)

内 容：

政府は 2001 年に「e-Japan 戦略」、2006 年に「IT 新改革戦略」、2009 年には「IT 新改革戦略」を前倒しする形で、「デジタル新時代への新たな戦略」、「i-Japan 戦略 2015」を発表し、現在は「新成長戦略」として、「シームレスな地域連携医療」と「どこでも MY 病院構想」が積極的に進められている。

香川県においては、これらの政策を先取りする形で、すでに 2003 年から、香川県と香川県医師会、香川大学医学部が一体となって運用する「かがわ遠隔医療ネットワーク (略称：K-MIX、<http://www.m-ix.jp/>)」が稼働している。現在 113 の医療機関が参加しており、経営的にも安定し、全国から注目されている。

2011 年度、香川県は、「かがわ医療福祉総合特区、～かがわ遠隔医療ネットワーク (K-MIX) を生かした安心の街づくり計画～」に指定された。本プロジェクトの目的は、K-MIX の基盤を利用し、離島や、僻地の住民に真に役立つ医療を実現することにある。実際には、e-ラーニング等、Web システムで育成した訪問看護師 (香川県ではオリーブナースと名付ける) が、へき地や離島での訪問看護等の際、在宅の患者に対して K-MIX の基盤を活用し、遠隔にいる医師とリアルタイムで情報を交換し、その医師の指導、確認のもとで医療行為を行うことを目指している。この他、電子処方箋ネットワークを用いた処方箋の電子情報としての発行、モバイル PC を用いた薬剤師の遠隔での服薬指導等を考慮している。

続いて、質疑応答・ディスカッションでは 1 人の方から質問があった。(約 5 分)

講師の原先生には、的確なご回答を頂いた。

以 上